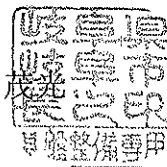




岐阜市基建第19号
平成19年5月9日

国土交通省道路局長 様

岐阜市長 細江 茂光



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について

平成19年4月2日付国道企第114号でご依頼のありました「中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について」は、別紙のとおりまとめましたので提出いたします。

中期的な計画の作成にあたっての意見

岐阜市長 細江 茂光

1 「陸の孤島」からの脱却（高速道路ネットワーク等の整備）

岐阜市は、地形的に内陸部に位置し空港や港もなく地域間の交通（特に物流）は、自動車交通に大きく依存しています。

高速道路や地域高規格道路の整備は、本市が高速道路ネットワークの「陸の孤島」から脱却するために非常に重要であり、地域の連携や競争力の強化、市域の活性化につながると考えています。

2 地域の連携と競争力強化

本市は、中京圏の拠点都市として、安全で便利な活力あふれる「日本一元気な県都岐阜づくり」を目指して、高規格幹線道路をはじめとする道路網やJR岐阜駅前広場などの交通結節点の整備を積極的に取り組んでいます。

また、活力ある商業が展開される中心市街地の形成のため、まちなかの幹線道路の整備も進めています。

○具体的な事業、施策

名古屋市を中心に東海三県を環状につなぎ、広域的なネットワークを形成する東海環状自動車道は「企業立地」の促進はもちろん、本市が進める岐阜インターチェンジ周辺の岐阜大学と岐阜薬科大学の連携による「ライフサイエンス研究拠点」づくりにとって必要不可欠であります。

また、岐阜市から名古屋市へ直結する南部横断ハイウェイ、名

岐道路は、名古屋経済圏との広域連携の強化やものづくり企業誘致及び周辺道路の渋滞解消のため、早期の整備が必要です。

併せて、金町那加岩地線等のまちなかの幹線道路事業も必要であります。

さらに、高速ネットワークや地域の有料道路の効率的活用のため、未償還金に道路財源を充て、通行料金の無料化や引下げを進めることは、広域的に人・もの・情報が行き交い我が国の経済・産業の発展のため検討されるべき課題であると考えられます。

3 豊かな生活環境の創造

少子高齢化社会を迎えた今日では、歩行空間のバリアフリー化を進め、歴史文化を活かした「まちなか観光・まちなか歩き」によるにぎわい創出をめざした歩行者・自転車のための公共空間づくり、またアクセス向上につながるバス等の公共交通支援を通して中心市街地の活性化を進める必要があります。

4 既存ストックの維持管理

既存道路ストックの維持管理のために必要な予算の確保、橋梁の耐震補強及び老朽化した橋梁の長寿命化対策の推進が必要であると考えています。

最後に

このように、市域活性化のため、まちづくりと一体となった道づくりを積極的に進めているところであり、今後の中期的な計画に本市の意向が十分に反映されることを強く望むところであります。

位置図

